

# まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 8 年 5 月 29 日(金) 18:30～20:00

場 所： 南部公民館

出席者： 24 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談
  - (1) 3 期目の政策について
    - ・ 資料①、資料②参照
  - (2) 関係機関・団体からの事前質問に対する回答
    - ・ 資料③
  - (3) 自由
4. その他
5. 閉 会

## ■住民票などのコンビニ交付について

町 民 コンビニでいろいろ書類を取得できるっていう説明があったが、全国のコンビニで取得できるようになるのか。栗山町だけでなのか。

総務課長 コンビニで住民票や印鑑証明の交付を目指している。提携すると本人の分のみになるが日本全国どこのコンビニでも栗山町の住民票を取得できる。

## ■持続可能な財政基盤について

町 民 町長は町民のことを心配しすぎていると思っている。南部公民館の巡回診療にしたって、財政に絡んでくる。町長が言うように、持続可能で安定した行財政基盤をやっているのかと。議員の給料を上げることも学校の統合も莫大なお金がかかると思う。若い人には安定した財政基盤を残さなければならないので、町民にもう少し迷惑をかけてもいいと思っている。バスだって町で 8400 万の運営費をかけて料金収入が 400 万ぐらいしかない。8000 万の持ち出しという状態。また、自宅まで迎えに来てくれるっていうのも初めて聞いた。どんどんサービスをしていたら財政が持たないのではないかと。

町 長 決して無理はできないと思っている。いろいろな事業を取り組む場合には、取捨選択をし絶対にこの事業が必要だというものがあれば、町の貯金を取り崩してでもやらなければならない。要望があったものすべてを行っているということではなくて、特にこの南部地区の医療環境を守るということは、地形的に南北に長い地形のことを考えると、医療供給の環境が必要ということで進めている。そのような中で、持続可能な行財政基盤を次の子どもたちに残してあげることが、現役世代の我々の責任だと思っている。栗山町の人口がもう少しで 1 万人を切つて、35 年後には半分になってしまう。普通に考えると、公共施設もいろいろな事業も、今度は 5,000 人位の人口規模に応じたまちづくりが必要になってくる。街の規模であったり、事業であったり、建物であったり、少しずつ縮小してい

なければならない。まだそこまで切羽詰まったような段階ではないが、少しずつ事業も選択をしていかなければならない。例えば公共施設は今の数を 30 年後維持できないため、統合するとか廃止するといった厳しい決断をしなければならない。また、今やっているいろいろなソフト事業や福祉のサービスだとかも選択をしながら縮小せざるを得ない。しかしながら、水道や下水道のような生活のインフラについては残さなければならない。水道も人口が減っていくと、水道料金を払う人が少なくなるので、料金を上げるか個別に拠点の施設を作って供給できるような仕組みを作るなど事業自体を少しコンパクトして効率的にするしかない。いずれにしてもその改修には大きなお金がかかる。

#### ■小学校の統合後の校舎利活用について

町 民 継立小学校が統合された後にどうするか方針が決まっているのか。

町 長 継立小学校の跡地活用については、今、示すものはない。まずは地域の皆さんと議論をして方向付けをしていきたい。避難所となっているので、その取り扱いをどうしていくかというところも含めて協議させていただきたい。

教育長 野球少年団の関係で、夕張の子どもたちが行き場がなくなっており、栗山町のロッキーズと夕張の個人が合同練習をしたいという話がきている。あわせて、夕張の子が栗山のまちまで行くのが大変ということで、継立小学校のグラウンドを何とか使っていけるようにならないでという相談も受けている。

#### ■中学校の部活動について

町 民 文科省が全国的に中学校でクラブ活動をするな、地域に任せるようにと言っているようだが、栗山町もそうなのか。

教育長 栗山町も地域に移行しているスポーツがある。しかし、中学校には、ぜひやりたいという先生方もいる。当初、国から認められていなかったが、やりたいという先生については、地域と一緒にという話になっている。子どもの数が圧倒的に少なくなっており、栗山中学校も野球、サッカーも 1 チームを組むことができない。そういったチームについては 1 市 4 町、もしくは岩見沢と組んで、大きい範囲でクラブチームにしている。これについては少子化の時代なので仕方がないと思っている。

#### ■中学校の部活動について

町 民 孫が栗山中学校でソフトボールに入ったが練習を由仁でやっている。岩見沢から来ている先生にお世話になっているが、どのような扱いなのか。

教育長 ソフトボールをしている生徒は由仁町と岩見沢の中学校に大きく分かれていた。そういうこともあって中間地点である栗山町に岩見沢の中学校でソフトボールの監督をしていた先生を人事で招いている。ぜひともやりたいという先生もまだまだいて、そういった場合は学校と町で認可を出すことになる。認可を出した上で、学校の先生をやりながら、地域の方と一緒にクラブチームを運営していく。

#### ■人口の年齢構成の推移について

町 民 生産年齢人口が 15 歳から 64 歳だが、生産年齢人口が 70 歳までになれば、人口推移のグラフが変わってくるのかなって思う。

町 長 今は 65 歳定年という時代ではなくて、70 歳、75 歳ぐらいまで働いている方も多くいて、健康保険や年金の制度なども変わってきている。考え方を柔軟に持

っていく必要があるかと思うが、健全なのは、生産年齢人口が老年人口を上回り続ける、そして年少人口を少しでも増やしていくことだと思う。そこが人口の政策の基本になると考えている。

### ■空き家の対応について

町 民 町内会で空き家が目立つ。私のところで4軒ほどあり、雑草の問題や防犯上よくないと思っている。地主に問い合わせてもらったのが一番だと思うが、誰が地主なのかっていうのも分かりづらい。行政の代執行のようなことはできないのか。

建設課長 古くなった建物とかがあって、朽ちてしまったり、周りに飛散したりとか、そういう恐れがある建物等については、建設課にまず情報提供してほしい。確認し必要な対応を検討したい。

### ■小学校の統合後の備品等の扱いについて

町 民 小学校の統合による備品の取り扱いはどうなるのか。栗山小学校に持っていく分、避難所用に置いておくものとか、廃棄するものとか。図書館の本など払い下げる基準というか、考えとかがあるのであれば聞かせてもらいたい。

教育長 過去に学校を統合した際に起こったトラブル事例を踏まえて夏か秋に処分する予定。現在は、学校関係の資料を残すための調査をしている。備品は、楽器のアコーディオンを例に言うとキャパの関係で栗山小学校にすべては持っていけない。東南アジアや中東、アフリカなど世界のどこかで生かしてもらおうとNPO法人の方々と調整している。一つ一つ大事な財産なので無駄にしないように考えたい。

### ■草刈りの費用について

町 民 継立の広場と公園の草刈りの費用として年2回分のお金をもらっているが、きれいに保つために年に16回やっている。

建設課長 相談し合いながら、より良い対応を考えていきたい。

### ■近くにポジポカードを利用できる店舗がないことについて

町 民 ポジポカード1万円で13,000円分使えるということだったが、継立の人にとっては、ぬか喜びだった。使うところがない。せめて、ガソリンや灯油だけでも買えればいいと思ったがそれも買えなかった。商店といえばセブンイレブンしかないがそこでも使えなかった。お年寄りには使わないで終わった方もいる。継立でも使えるようにしていただきたい。継立の人は我慢するということか。

商工観光課長 角田と継立地区については、使えるお店が少ないなかでポジポカードがスタートして、お怒りのお電話をいただいた。継立のセブンイレブンも含めた町内のセブンイレブン、セイコーマート、ローソンへカード会の役員さんをお願いに行っている。ローソンは使えるが、セブンイレブンはシステム上の問題や、アルバイトの方が覚えきれないといった問題があって、機械を導入できず、コンビニで使えるところはまだ増えていない。ガソリンスタンドもカード会の方が一生懸命頑張ってお店を増やそうとしている。いろいろな形で使えるようにしていきたいと思っており理解していただきたい。

## ■ポジポの使用期限について

- 町 民 ポジポに入金した電子マネーが 6 カ月過ぎたら失効されてしまうのはおかしくないか。
- 商工観光課長 法律に基づき使用期間を 6 カ月としている。くりやまギフトカードの時にも 6 カ月間だったがどうしても守らなければならない。3 万円とか 5 万円を入れてしまって、どうしても使いきれなかったということがあるので、使っている方には、あまり多く入れすぎないようにという話もしている。銀行のカードと違うので、使い方に合わせて現金をチャージしていただきたいとお願いをしている。